

顯著暴風雨進路

# 気象要覧

全13巻

中央気象台 編纂

明治33年〜大正15年

一 九〇〇年から定期刊行されている気象・地象・水象などの  
一 月間の概説や統計値を総合的にまとめた唯一の資料。

クレス出版

# 『気象要覧』の復刻にあたって

統計資料がどのくらい充実しているか、定期的に刊行されているかは、その国の文化の程度のパロメーターと言われる。日本は世界でも指折りの統計が完備した国である。人口統計、農林統計などの諸産業統計、もちろん気象統計然りである。

統計資料充実の理由は、明治時代以来の日本の役所の機構や日本人の性格なども反映していると思われる。少し大げさに言えば、日本の国力や学問・文化の発展は、このような統計資料に裏うちされている。

『気象要覧』は気象庁（古くは、中央气象台と称した）が刊行し、市販されている定期刊行資料のうちのひとつで、『気象庁月報』や『気象庁年報』などと並ぶものだが、国内一五四地点、国外九一地点において観測した気象・地象・水象などの一カ月間の概説や統計値を総合的にまとめたものとして、唯一のものである。

比較的近年の三〇年分の統計値は、コンピュータの発展により磁気テープやフロッピーディスクに入っていて利用できるようになってきている。しかし、古

い時代の部分は、印刷・刊行されたものにたよる他ない。最近地球温暖化により、明治・大正・昭和の初期と比較すると、気温や降水量の観測結果は変化してきている。また、都市では人間活動によりヒートアイランド現象が年々明らかになり、その程度がひどくなってきている。これらの現象を検討するには過去一〇〇年にわたる長期間の観測値が必要である。

ここに復刻されるのは『気象要覧』の明治大正時代の部分で、明治三三（一九〇〇）年から大正一五（一九二六）年の観測結果である。ちょうど、日本が近代化を進めた時代であり、古気候的には、「小氷期」の寒冷な一九世紀後半に続いて、水害が多発し、冷害が近代化を押しもどす時代であった。

気象学・気候学はもちろん、環境科学・生態学・歴史学・建築学などの研究を行う大学や研究所の図書室には欠くことができない、いわゆる「ナベ・カマ」の統計資料が『気象要覧』である。また、政策担当者は昔と今の比較から出発しなければ、当然ながら地域行政を行えない。関係機関の図書室にぜひ揃えるよう推薦したい。

筑波大学名誉教授  
国連大学上席学術顧問

吉野正敏

## 気象要覧 明治三十三年一月

本報ハ一警測候所(毎時観測ヲ施行ス)十五箇所、二警測候所(午前二時六時十時午後二時六時十時ノ六回観測ヲ施行シ、三鎮守府測候所、二海岸測候所、二燈臺ヲ含ム)六十二箇所ノ観測ニ據リテ調査シタルモノナリ

### 明治三十三年一月全国気象概況

本月ノ気象ハ全ク冬季ノ状態ヲ存シ氣壓ハ半年ニ比シ甚タ高ク高氣壓部位ノ發育顯著ナリシヲ以テ寒風ノ威勢最モ強ク全國ヲ通シテ氣温著シク過低ナリシノミナラス日本海沿岸ニ於ケル雨雪ノ増加セシメタリ而シテ太平洋沿岸ニ於テモ亦屢々低氣壓部位ノ影響ヲ享ケ雨雪一體ニ増加セリ今左ニ本月中ノ主要ナル現象ヲ摘述スヘシ

### ○氣壓及天氣(高低氣壓部位)

氣壓ノ高部位ハ絶ヘス極西部ヲ掩ヒ其中四回日本海面ヲ經過セリ而シテ低部位ハ七回現出シ其中四回ハ太平洋沿岸ヲ其他ハ日本海北部ヲ通過セリ即チ一日以來廣大ナル高氣壓部位ハ極西部ニ擴カリ五日ニ至ルマテ滞留セシヲ以テ天氣ハ日本海岸ニ陰濕ナリシ外概ネ乾燥ト爲リシモ六日ニ至リ高氣壓ハ稍々移動シテ日本海面ヲ掩フニ至リ淺薄ナル低氣壓部位ハ琉球ノ南方ヨリ起リ急ニ太平洋沿岸ヲ通過シテ北日午後本州南海岸ニ達セリ依テ天氣ハ六日午後ヨリ一日暖濕トナリ次ヒテ西部ヨリ氣壓ノ増嵩スルニツル程々回復セントセシモ九日夜ニ入りテ再び低氣壓ノ南海岸ヲ通過スルアリテ本州一體ハ陰曇雨雪ヲ催シタリ而シテ該低氣壓ノ南海岸ニ來ルヤ更ニ支低部位ヲ日本海中部ニ起シ南方ノモノハ急ニ南海岸ニ向ヒ北方ノモノハ次第發育シテ兩者相並ヒ北東方

## 暴風雨

本月本邦附近ヲ通過シタル低氣壓ハ總計十群アリ。中被害ヲ伴ヒタルモノハ十日前後ニ於ケル颱風ニシテ、他ハ左シテ顯著ナラズ。第一號ハ颱風ニテ前月二十六日ラサ島ノ南方洋上ニ現ハレ次第ニ北西ニ進ミ二十九日頃石垣島ノ東ヲ過ギテ支那海ニ入り、方向ヲ西ニ轉ジ二日福州方面ニ於テ衰弱シタリ。第二號ハ大陸颱風ノ一群ニシテ一日午後滿洲北部ニ現ハレタルモノヲ主トシ、二日朝ハ日本海ト内海トニ副低氣壓ヲ伴ヒ皆東北東ニ進ミ二日午後主低氣壓ハオホーツク海ニ他モ夫レ夫レ本邦東海上ニ去リタリ。第三號ハ五日頃相連續シテ南海岸沖ニ現ハレタル小低氣壓ニシテ甲ハ五日午前遠州灘遙カノ沖ニ乙ハ五日夕刻土佐沖ニ現ハレ共ニ東北東ニ去リタリ。第四號ハ五日夕刻ヨリ六日ニ亘リテ沿海州ヨリ樺太ヲ通過シ去リタリ。第五號ハ大陸颱風群ニシテ七日蒙古方面ニ現ハレ甲ハ沿海州ヲ東北東ニ乙ハ渤海灣ヨリ朝鮮半島北部ヲ横斷シ九日正午頃秋田附近ニテ衰弱シタリ。第六號ハ二個ノ颱風群ニシテ別項ニ記述ス。第七號ハ大陸颱風ニテ十四日渤海灣ニ現ハレ支那東海ニ副低氣壓ヲ生ジ共ニ東北東ニ進ミテ十六日千島方面ニ去リタリ。第八號モ大陸颱風群ニシテ十八日蒙古ニ發シ十九日黄河方面ニ副低氣壓ヲ生ジ共ニ北東ニ進ミテ樺太方面ニ去リタリ。第九號ハ遙カニ西比利亞ヲ東走シタル大陸颱風ノ南端ニシテ二十日ヨリ著シキ不連續線トナリテ滿洲ニ現ハレ次第ニ東走シ二十三日夕刻日本海ニ入ルヤ遂ニ低氣壓ヲ形成シ北東ニ進ミ二十五日オホーツク海ニ去リタリ。第十號ハ同ジク大陸颱風ニシテ二十九日黄河方面ニ發シ東北東ニ進ミテ三十一日千島方面ニ去リタリ。此際支那東海ニ一副低氣壓ヲ生ジタリ。以上ハ本

第一表 大正十五年(昭和元年) 全國雷雨月別回数表並に降雹箇所、落雷箇所、燒失家屋、震死者表

時刻	州南諸島	九州	四國	山陽	山陰	近畿	關西	本州中部	關東	北陸		奥羽	北海道	計	重複	差引計	臺灣	支那中部	支那北部	朝鮮	樺太	南洋	計	重複	差引計	降雹箇所	落雷箇所	震死者	燒失家屋
										西部	東部																		
一月	1	3	2-1	1-1	6	0	3-2	2	0	7-3	12-1	0	0	37	8	29	2	0	0	0	0	1	3	0	3	1	0	0	0
二月	2	2	1	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	10	0	10	8	0	0	0	0	0	8	0	8	0	0	0	0
三月	2	6-1	1-1	2-2	6	8-3	3-1	8	6-1	11-4	9-2	7-3	0	69	18	51	0	0	0	2	0	0	2	0	2	21	3	0	1
四月	11	4	0	1-1	7-3	9-2	5-2	7-4	12-2	7-1	5-3	5	2	75	18	57	36	0	4	3	0	1	44	0	44	53+N	6	0	0
五月	15	32-1	9-2	5-2	3-1	7-2	10-4	17-5	7-1	1-	1	5	113	19	94	62	2	2	10	0	5	81	0	81	24	15+N	0	1	
六月	9	5	15-2	16-3	16-5	23-7	21-10	56-8	47-10	5-3	19-9	21-5	15	268	62	206	30	4	23	25	4	11	97	0	97	117+N	34+N	2	2
七月	8	82	27-7	53-30	30-5	46-21	49-21	34-15	72-9	24-10	26-4	38-9	38	527	121	406	57	4	27	57	10	2	157	0	157	14	62+N	4	7
八月	5	91-2	24-3	37-14	34-6	44-10	41-17	31-9	60-8	18-7	19-6	24-1	27	455	92	363	63	4	31	56	5	9	163	0	163	11	122+N	5	13
九月	15	116-2	52-10	51-25	47-8	53-19	51-24	32-12	48-11	32-7	43-10	36-3	28	604	131	473	54	1	15	37	6-1	1	114	1	113	29+N	118+N	6	2
十月	2	3	2-2	2	8-2	2-1	4-1	2-1	8-1	25-3	33-6	24-8	30-2	145	27	118	8	0	6	5	8	10	37	0	37	32	6	0	0
十一月	5-1	6	1	1	0	3	4-1	3-2	3-1	7-1	5-1	2	2	42	7	35	1	0	0	2	1	17	21	0	21	5	0	0	0
十二月	1	10	4-3	6-3	15-4	12-4	6-3	4-4	10-2	8-2	19-1	4-1	1	100	27	73	0	0	0	1	0	21	22	0	22	21+N	24	1	8
計	76	360	138	175	172	209	197	196	276	145	191	162	148	2445	530	1915	321	15	108	193	34	78	754	1	753	328+N	390+N	18	34
重複	1	6	31	71	34	78	86	60	46	42	43	30	2	530			0	0	0	0	1	0	1						
差引計	75	354	107	104	138	131	111	136	230	103	148	132	146	1915		1915	321	15	108	198	33	78	753		753				

# 気象要覧 全13巻 中央気象台 編纂

A 5判／上製クロス装／本文クリーム中性紙

揃定価240,000円(税別) ISBN4-87733-189-1(セット)

●第1回配本 明治33年～明治44年 全5巻

平成15年6月末日刊行 揃定価88,000円(税別) ISBN4-87733-190-5

1. 明治33年・34年・35年
2. 明治36年・37年・38年
3. 明治39年・40年
4. 明治41年・42年
5. 明治43年・44年

●第2回配本 明治45年～大正8年 全4巻

平成15年9月末日刊行 揃定価74,000円(税別) ISBN4-87733-191-3

6. 明治45年・大正元年・2年
7. 大正3年・4年
8. 大正5年・6年
9. 大正7年・8年

●第3回配本 大正9年～大正15年 全4巻

平成15年12月末日刊行 揃定価78,000円(税別) ISBN4-87733-192-1

10. 大正9年・10年
11. 大正11年・12年
12. 大正13年・14年
13. 大正15年

## 翻刻歴史史料叢書 全6巻 気象研究所 監修 荒川秀俊 編

A 5判／上製函入クロス装

〔気象史料シリーズ〕復刻 揃定価33,000円(税別) ISBN4-87733-152-2(セット)

- |             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 1. 日本高潮史料   | 定価 4,000円(税別) ISBN4-87733-153-0 |
| 2. 異国漂流記集   | 定価 4,200円(税別) ISBN4-87733-154-9 |
| 3. 日本漂流漂着史料 | 定価10,200円(税別) ISBN4-87733-155-7 |
| 4. 近世気象災害志  | 定価 3,600円(税別) ISBN4-87733-156-5 |
| 5. 日本旱魃霖雨史料 | 定価 6,200円(税別) ISBN4-87733-157-3 |
| 6. 異国漂流記続集  | 定価 4,800円(税別) ISBN4-87733-158-1 |

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メロ一ナ日本橋

☎(03)3808-1821 ㊚(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>



株式会社クレス出版